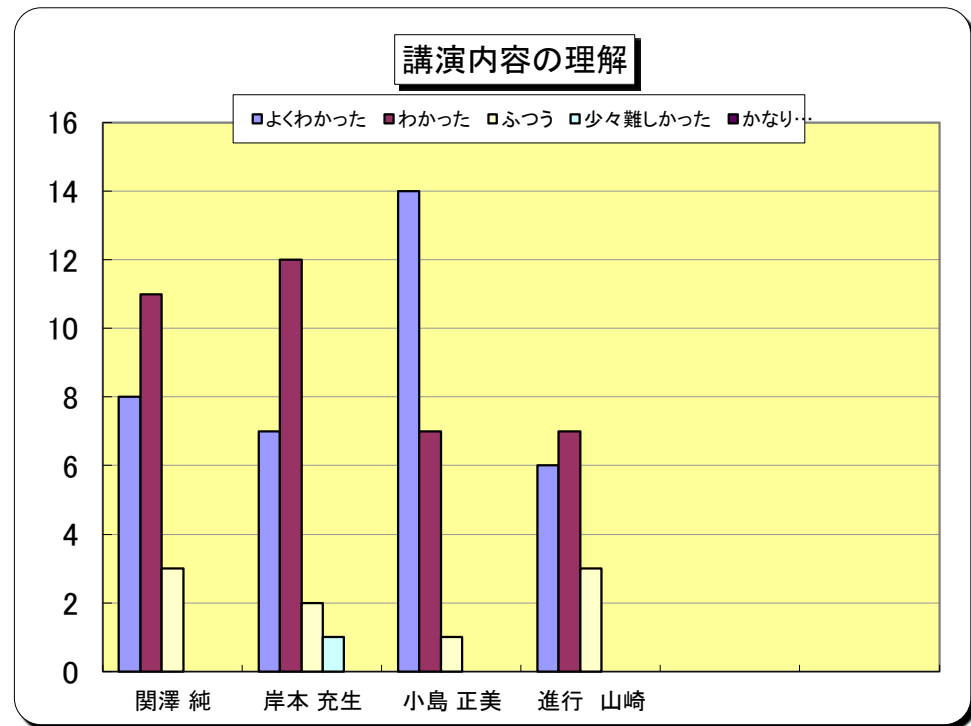


食のリスクコミュニケーション・フォーラム2015(4回シリーズ)
 第3回テーマ:「世間が目にする食品リスクとリスク管理の実態」
 2015年8月30日(日)13:00~18:00
 於 東京大学農学部フードサイエンス棟内 中島董一郎記念ホール

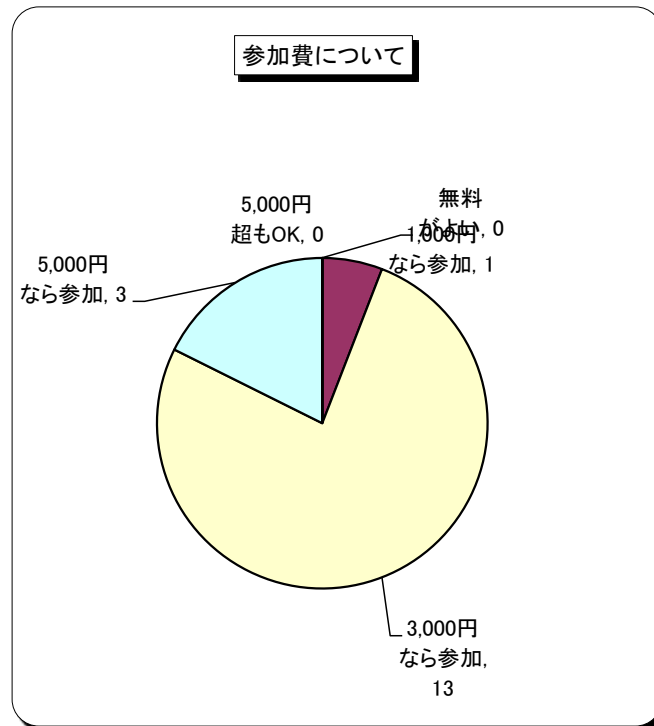


アンケート回収数22枚(参加者:39名、演者4名を除いた回収率:63%)

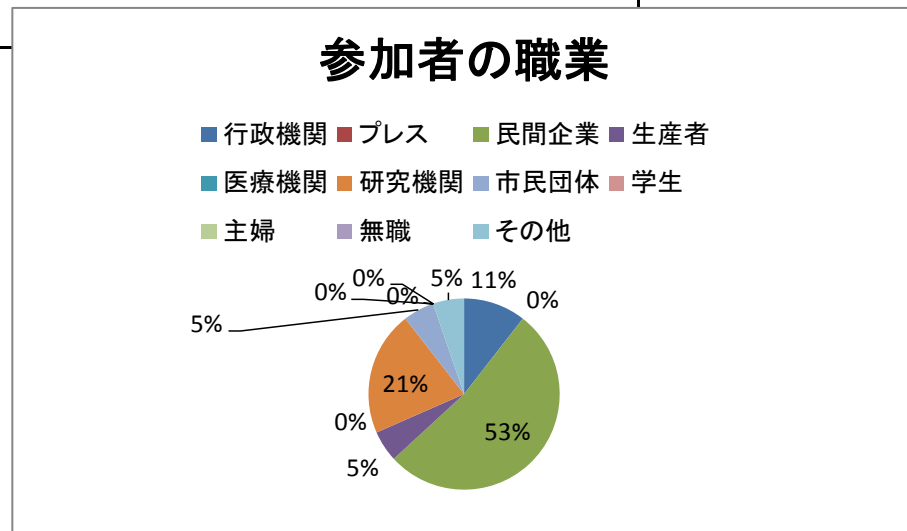
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	食の安全要因と人の要求(安心)要因を探る	関澤 純	8	11	3	0	0
2	基準値の根拠を通して考えるリスク	岸本 充生	7	12	2	1	0
3	食品のリスク報道はなぜ、ゆがむのか	小島 正美	14	7	1	0	0
4	パネル・ディスカッション:『食の安全・安心の最適化にリスクは有効か』	進行 山崎	6	7	3	0	0
5			0	0	0	0	0
6			0	0	0	0	0



	無料即よい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどう思われますか?	0	1	13	3	0
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でも教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか?	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOから隔月でメルマガを発行しておりますが、無料購読を希望される方はメルアドをご記入ください。	(別紙)				



職業	
行政機関	2
プレス	0
民間企業	10
生産者	1
医療機関	0
研究機関	4
市民団体	1
学生	0
主婦	0
無職	0
その他	1



各講演やフォーラム/SFSSへのご意見・コメント:

No.	内容	講師
1	食の安全要因と人の要求(安心)要因を探る	関澤 純
1	0	
2	0	
3	多分胃がんのご説明時にピロリ菌とおっしゃるつもりだったと思いますが、カンピロバクターとおっしゃられたことが気になりました。	
4	0	
5	従前のリスクアナリシスやゼロリスクを冒頭で否定された割には内容はどこでも聞ける話で残念でした。また米国と中国から輸入される食品は中身が大きく異なり、その違反率を並べてみてもあまり意味がないかと思えます。これに限らず全般に表層的な内容で深みが感じられませんでした。 ➡【関澤先生より】時間の関係で先日は輸入食品の違反内容をお話できなかったかも知れませんが、いつもは具体的にお話しさせてもらっています。また食品安全は多くの方が語りますが、食品・食生活の多様性、また食と人との関係の考察が十分され語られないことが問題です。またリスクと称して一方的な啓蒙に頼る傾向も相変わらずありますね。	
6	わかりやすいお話でした。	
7	0	
8	0	
9	何が安全かばかりを気にして“自分”について考えている人はあまりいないというご意見はもっともだなと思いました。	
10	事例もわかり易く良くわかりました。	
11	0	
12	0	
13	0	
14	0	
15	0	
16	安全・安心の消費者と行政・専門家のギャップが増えていることに驚きつつも納得できました。ここを減らすことが大事ですが今の状態では難しいのでは。	
17	0	
18	0	
19	ADIの決め方のお話はリスクとしても、とてもわかりやすかったです。	
20	安全評価につき豊富なデータ、説明で学ぶことが多かったです。	
21	0	
22	0	

2 基準値の根拠を通して考えるリスクミ		岸本 充生
1	0	
2	0	
3	企業に勤務している身としてリスクミの言葉ばかりが先走りしている感があり、どう対処すべきか混乱していることが実情でした。先生のご講義をうかがい整理できそうな気がしてきました。	
4	0	
5	投影資料を全て配布して頂き聞きやすかった。また説明自体も分かりやすかった。	
6	専門的な内容を理解しやすく説明いただきました。	
7	0	
8	0	
9	和訳のちょっとしたニュアンスの違いで感じ方が変わってくることに驚きました。また一般市民の”考える力”を育てるためリスクテラシー教育の大切さに気づかされました。	
10	0	
11	0	
12	0	
13	現状のリスクミに疑問を感じている小生にとって新たな切り口を知ることができた。	
14	0	
15	0	
16	ADIの根拠、本当の意味(無観察悪影響レベル)について知ることが出来ました。常に根拠を意識していきたいと思いました。	
17	0	
18	0	
19	0	
20	リスクミの根拠、あるべき論、アプローチ等、今後の研鑽の参考にしたいと思いました。	
21	0	
22	0	

3 食品のリスク報道はなぜ、ゆがむのか		小島 正美
1	0	
2	0	
3	メディア側の思い、考え方がわかり大変参考になりました。	
4	0	
5	大変分かりやすかったと思います。	
6	具体的な例を説明いただき、わかりやすかったです。	
7	0	
8	0	
9	新聞社の中でも部署間によって一面に出るモノ、出ないモノに差があるというのには驚きました。市民に最も影響力のある媒体が新聞・ニュースだと思いますので今日はお話が聞けてとても勉強になりました。	
10	0	
11	リスクガバナンスの中での市民とお話中の市民は同じ姿をしています。興味深いです。	
12	0	
13	メディアのメディア、市民社会と専門家、そして企業のコンプライアンス、考えさせられる問題だと感じた。	
14	0	
15	0	
16	とても興味深い内容でした。市民中心の考えのこわさを感じました。いろんな情報の中から正しい情報を導き出すことの大切さも今回知ることが出来ました。	
17	大変面白くうかがいました。	
18	0	
19	メディアの考え方、メディアのメディアをぜひつくってください。	
20	マスコミの視点がわかり興味深かったです。	
21	0	
22	0	

4 パネル・ディスカッション：『食の安全・安心の最適化にリスクミは有効か』		進行 山崎
1	0	
2	0	
3	チェルノブイリの事故で輸入食品規制を370bq以上の場合は輸入禁止を取ってきていたのですが、福島事故から100bqの線が引かれ、その後輸入食品もそれに合わせるようになった訳ですが、その辺の矛盾をいまだに感じている私ですが、本日の先生方のディスカッションで改めて思う次第です。	
4	0	
5	0	
6	良い司会進行でした。	
7	0	
8	議論が深くなり良かったです。	
9	0	
10	0	
11	0	
12	0	
13	外部(第三者)による記者教育(メディアリテラシー)は興味深い。	
14	0	
15	質問票を入れる形式は良いと思う。3名の話じっくり聞いてからのパネルなので議論が深まる。	
16	0	
17	0	
18	0	
19	0	
20	0	
21	0	
22	0	

7 今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。		
1	0	
2	0	
3	食の安全安心の最適化にリスクミは有効か、非常に難しいテーマだったと思います。多分答えは考えをつきつ詰めていくほどに見いだせなくなりそうです。	
4	テーマ選択、講師もたいへん良いものと思います。	
5	0	
6	バランスの良い組み合わせの3名の先生方であったと思います。	
7	0	
8	0	
9	活発な議論を聞くことができとても楽しかったです。	
10	大変興味深く拝聴できました。情報は冷静に判断することが大切と改めて感じました。	
11	0	
12	リスクミの考え方を考える時期かも知れない。	
13	うまくいっていない「リスクコミュニケーション」から「リスクテラシー教育」へ・・・は賛同します。「ハザード評価」「リスク評価」「リスク管理」の違いは勉強になった。	
14	0	
15	0	
16	初めて参加したのですが、とても刺激を受けた内容でした。今回皆様からお聴きした情報や考え方を社に持ち帰って一部でも伝えられれば良いと思っています。ありがとうございました。	
17	0	
18	食品関係について知識をあまり持っていなかったので良い勉強になりました。	
19	0	
20	テーマ・内容ともに専門的な奥深い展開であり、とても興味深く拝聴しました。	
21	0	
22	非常に忌憚のない意見の交換で聞いていて楽しいです。	

8	今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？	
1	0	
2	0	
3	0	
4	情報開示のあり方	
5	0	
6	4回連続と同様が良いと思います。	
7	0	
8	0	
9	0	
10	0	
11	0	
12	0	
13	0	
14	0	
15	0	
16	日本と世界の考え方の違いや現状について知りたいです。	
17	0	
18	0	
19	0	
20	高齢者	
21	0	
22	HACCPの今後あるべき姿	

9	当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか？	
1	0	
2	0	
3	0	
4	コンサルタント、食の安全、リスコミ	
5	0	
6	学習会への講師の派遣	
7	0	
8	0	
9	0	
10	0	
11	0	
12	0	
13	0	
14	0	
15	0	
16	もっといろんな人に今日お話頂いた話を広めて頂きたいと思いました。	
17	0	
18	0	
19	0	
20	セミナー、啓発活動	
21	0	
22	小島さんの言われたメディアのメディア設置への準備・共賛	